

こんにちは中村です。朝夕めっきり寒くなってまいりましたね。皆様お元気でご活躍のことと思います。いよいよせまってきた2006年ワールドカップドイツ大会。各国代表チームが続々と決定する中、その大会のチケットを入手するにはどうすればいいのでしょうか。順番待ちによる「条件付き入場券」の発売が行われます。11/2～11/30まで抽選によって順番待ちリストが作られ、上位者から販売されます。販売、購入は公式サイトを通して行われるそうです。そこで思い出すのは日本サッカーの先駆者三浦知良、シドニーFCへ期限付きの移籍が内定しました。オーストラリアでは1997年に発足したナショナルサッカーリーグ(NSL)が予定されていたがオーストラリアが移民の国であり、民族ごとにクラブを設立して応援するという形が主流だったため、競技人口は多いのに観客数は閑古鳥が鳴く有様で破綻へと追い込まれてしまいました。2004年11月、民族色を払拭(ふっしょく)した1都市1チームの計8チームによる新プロリーグ【Aリーグ】ができ、スポンサーも韓国の自動車メーカー、ヒュンダイが冠スポンサーとなり、協賛スポンサーも有名企業が名を連ねて財政面での基盤が固まると、各チームは選手獲得へと乗り出していき、国際色豊かに盛り上がる初年度をむかえました。観客の入りは今後さらに伸びるとみられています。三浦知良選手は12月11日開幕の世界クラブ選手権に出場、早ければ13日のクイーンズランド戦でデビューするようです。今後の活躍を期待します。

規制対象ディーゼル車の 買換えが必要な事業者の方へ!

東京都では、NOx・PM法に伴い、都の2段階規制(平成18年4月1日以降)に適用されるディーゼル車への規制によってトラック、バス等の買換えが必要な中小企業の方への融資をあっせんしています。

融資を利用できる方は、東京都内に住所を有し、かつ、同一場所で同一事業を引き続き1年以上営んでいる。都の事業税等の税を滞納していない。購入予定車は未使用で未登録(中古車は対象外)のもので、購入後都内で登録すること。などに当てはまる方が対象となります。主な内容は以下の通りで、申込先の取扱金融機関で平成18年3月31日まで受付しております。

	NOx・PM法買換え特別融資あっせん制度	自動車低公害化促進資金
東京都の補助	利子補助1/2 保証料補助2/3	信用保証料の2/3
融資限度額	5千万円	1億円
融資利率	貸出時の前月の長期プライムレート+0.5%	申込時の長期プライムレート以内
償還方法	毎月元金均等返済(60回以内)	元金均等分割返済(7年以内)
融資対象 その他条件など	最新規制適合車の購入 【現在使用中の車両】 車両重量3.5トン超の場合 3.5トン以下の場合 現在所有の車と購入車両の総重量が同程度であること。	最新規制適合車又は東京都指定の低公害車の購入 【購入車両】 最新規制のディーゼル車等 最新規制のガソリン車等(ディーゼル車を除く)

その他取扱金融機関(申込先)等詳しい内容については下記のところにお問い合わせください。

東京都環境局自動車公害対策部低公害化支援係 03-5388-3535

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/jidousya/diesel/youshiseido.htm> (佐藤)

シリーズ 建設業許可Q&A

Q、許可を受けた建設業者が、建設業法上の営業所でない営業所で軽微な工事を請負うことは可能ですか？

A、建設業法第3条で建設業法上の営業所とは、本店又は支店若しくは政令で定めるこれに準ずるもの(常時建設工事の請負契約締結する事務所)とあります。さらに、「常時建設工事の請負契約を締結する事務所」について、通達では、請負契約の見積り、入札、契約締結等請負契約の締結に係る実体的な行為を行う事務所をいい、臨時に置かれる工事事務所、作業所又は単なる事務連絡所は該当しないとあります。

請負契約においては、これらの規定が適用されることとなりますので、建設業法上の営業所でない営業所では、たとえ軽微な建設工事であっても請負えないこととなります。(山中)

地震対策してますか？

近年、地震に対する関心も高まっており、本屋でも帰宅支援本など様々な震災に関する本が多く見受けられます。また、最近では関東近辺でも地震が起こっており、関心はますます高まっているのではないのでしょうか。

そこで、地震前の対策ともし起こった時の対応すべきことをご紹介します。

まず対策としては、家具はしっかり固定し、寝室には背の高い家具を置かない、貴重品は比較的家具の少ない部屋に置く、最低限、懐中電灯とバケツ、ラジオ、帽子は常備しておくこと。

起きた後の対応としては、風呂、バケツなどにできる限り水をためる、屋内でも靴を履く、家を離れる時は必ずブレーカーを落とす。上記のことをふまえ、もしもの時の為に、対策は万全にしておきたいものですね。(佐藤)